

理科・環境の自由課題

1	児童生徒発明くふう展
2	理科の自由研究
3	身近な自然観察路コンクール

大切なのは
疑問を持ち続けることだ
神聖な好奇心を失ってはならない

天才とは
努力する凡人のことである

学べば学ぶほど
自分がどれだけ無知であるか思い知らされる
自分の無知に気付けば気付くほど
より一層学びたくなる

ー アルベルト・アインシュタインー



1 はつめいく ふ う さ く ひん 発明工夫作品をつくってみませんか

1. ねらい

あそび ならいごと せいかつ なか
遊びや習い事、生活の中で「こんなものがあつたらいいの
に・・・」「これのこの部分がこうなつたらもっと便利なのに・・・。」
おもったことはありますか。そのように思うことがあれば、あ
なたは新しい発明のチャンスを見つけているということです。

そこで、夏休みを使って、暮らしに役立つ物、新しく発明した
物をつくってみましょう。思いがけない商品が生まれたり、未来の道具を
生み出したりするかもしれません。さあ、あなたもやってみましょう。



2. 募集する物

- ①日用品・生活用品を改良した物や制作記録・設計図
- ②日常生活の安全に役立つように工夫した物

3. どんなものがよいの？

- ①日常生活の中で、「こんなものがあつたらいいのに、こうしたらもっと便利になるのに！」という思いをもとにつくられている物
 - ②身の回りにある物を工夫してつくっている物
 - ③すてきな発想に基づいている物
 - ④多くの人の役に立つ物など
- ※全てに当てはまる必要はありません

4. どんなものはいけないの？

- ①雑誌や本などで紹介されている物
 - ②市販のキットで作成した物
 - ③製品として購入してきた物
- ※これらの物をもとにして、改良した物であれば、大丈夫です。

さあ、あなたも、平成のエジソンになってみませんか？

まずは、日常生活の不便や不満を見つけることから始めてみましょう。

下記のアドレスより、申込書を印刷して、記入してください。

【一般社団法人滋賀県発明協会

第46回滋賀県児童生徒発明くふう展（申込書）】

(https://www.jiii-shiga.jp/monthly_event/2026kuhu_entry.pdf)

2 環境や理科の自由研究

附属小学校

1 ねらい

遊びや生活の中で「あれ?」「なんで?」「どうして?」「おかしいな?」と思ったことはありませんか。不思議に思うことがあれば、あなたは研究のチャンスを見つけているのです。

そこで、夏休みをつかって不思議に思うことを調べてみましょう。調べていくといろいろなことがわかってきます。観察をしていく方法、実験をしていく方法、本で調べて本当かどうか自分の目で確かめていく方法もあります。根気強くやってみましょう。すると、調べたり、観察したり、実験したりしていくことが楽しくなってきます。

そして、自分のしたことをまとめてみましょう。すばらしいものができます。

さあ、あなたもやってみましょう。

2 やってみよう

(1) 何をするかを決めよう

研究することを決めよう。

①調べる? ②作る? ③発明する?

(2) テーマをきめよう

①調べること、作るものをはっきりさせよう。

何を調べるかをはっきりさせることが大切です。

※あさがおについて研究する場合、いろいろなことがあります。できるだけ比較したり、関係づけたりして調べていきましょう。

・大きくなる様子を調べる。

どの部分が大きくのびるか比較する。

肥料、日光、水との関係を比較する。など

・花を調べる。

よく似た花と比較する。

花は何によって開くのか(時刻?気温?明るさ?天気?)

つぼみから完全に開くまでにかかる時間は種類によって違うのか。

花の色は土の種類によって違うのか。など

・つるを調べる。

巻く方向は?反対に巻くとどうなる?

どのようにして巻きついていくのか。など

②調べたいことが「テーマ」になります。

③調べていく方法を考えよう。

(3) 準備をしよう。

①研究を進めるために、何がいるのかを調べ用意する。

(4) 調べて記録しよう。

①自分の方法で調べていこう。

②ていねいに調べていこう。

・いつ、どこで、どのようにしたか、そしてどうなったかを記録していこう。

・失敗も大切な記録です。これも記録に残しましょう。

<記録をとるときに、大切なこと>

*ノートを用意する。

*記録は、その場でする。

*記録の仕方を工夫する。

・文や図、表にする ・グラフにかく ・絵にかく ・写真をとる

(5) まとめよう

研究が終われば、その結果をまとめよう。まとめかたを工夫することが大切です。

・文にするだけでなく、写真や絵、表や図やグラフなどを入れていこう。

・わかりやすくするために、色を上手に使おう。

・自分のアイデアをいかそう。

※こんなことができるのでは・・・

・総合的な学習で調べたことを、もっと深く調べてみる。

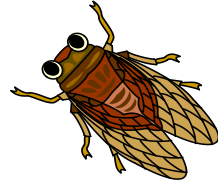
・川の調査(どんな植物があるのか。どんな水生昆虫がいるのか)

・琵琶湖や川の魚(種類、産卵のし方と成長、骨格標本)

・地域のつる植物 ・樹木の拓本づくり ・植物の根の調査

・地域の自然マップ ・ポットホルの調査 ・地域の昆虫マップ

・気象や地震に関する研究



<保護者の方へ>

※校内で審査の上、科学作品展や発表会に出品しますので、下記の内容を参考にしてください。

(1) 科学作品の部

- (ア) 研究記録(観察記録)および図表
- (イ) 標本(昆虫、貝、植物、鉱物、化石等)
- (ウ) 科学製作物(模型、機械、器具、電気、無線等に関する製作物および製作記録)

※標本については、採集禁止区域のものがないか注意してください。

(2) 発明工夫作品の部

- (ア) 自身で工夫・製作・発明した日用品または生活用品を改良したもの
→これらの製作記録・設計図などをつけるのもよい
- (イ) 日常生活の安全に役立つように工夫したもの

(3) まとめ方 **R4年度より県の規定の変更によりまとめ方が大きく変わっています。**

研究をやりっぱなしのままでなく、研究の取組方、課題の設定のしかた、研究の方法、実験・観察の方法や結果等を振り返り、まとめます。まとめ方も図や表等を使って工夫してください。

- ・記録・図表の枚数、用紙の種類は制限しない。
- ・A4レポート用紙(縦297mm×横210mm)または、A4もしくはB5サイズのノート(マス目があっても、自由帳でも可)にまとめる。
- ・A4もしくはB5サイズの紙をファイルに入れてもよい。

※ノートを開いたときに、A4サイズを最大とする。

※模造紙半分や画用紙サイズ等は出品できません。

※模造紙半分で作成したものは、縮小印刷し、冊子にして出品することは可能。

※折り込んだ際には、ノートやファイルを閉じたときにA4サイズを超えない。

※ノートを開いてA3サイズとしてまとめることは可

※実験・観察で使用又は作成した実物ではなく写真にして貼り付けてください。

※標本・模型・実験道具等も全て写真にして、レポートやノートに貼り付ける。

※作品の題名は30文字以内

※表紙には、学年・名前のみ記入し、本来の表紙は中表紙(表紙をめくった最初のページに、題名・学年・名前等を書く(出品する際の出品表を貼るので、見えなくなります))

<まとめ方の例>

- 1 テーマの設定
- 2 研究の動機
- 3 研究の方法・内容
- 4 予想
- 5 準備物
- 6 実験・観察
 - (1) 実験・観察の内容・結果①
 - (2) 実験・観察の内容・結果②
 - (3) 実験・観察の内容・結果③
 - (4) 実験・観察の内容・結果④
- 7 結果
- 8 結果からいえること
- 9 まとめと今後の課題

- ①図表を効果的に用いる。
- ②スケッチ、写真を効果的に用いる。
- ③カラーペンを使ってわかりやすくする。
- ④1回だけの実験で結論を出すのではなく、数回は実験を行い、結果を出す。
- ⑤失敗した実験も記録として残し、失敗の原因がどこにあったのかをはっきりさせる。
- ⑥今後の課題がしっかりもてるようにする。

3 わたしの自然観察路（絵地図と文章で伝えよう！）

<http://kansatsuro.jeef.or.jp/>

SKETCH

応募資格

全国の小・中・高校生
(個人部門と団体部門があります。)

※団体部門：2名以上のチームで、学年や学校区分等は不同。小・中・高をまたいても構いません。

(注意)

- (1) 作品は自作かつ未発表のものに限ります。
- (2) 団体部門でのご応募の場合、個人応募では達成できない何か特長・ユニークさがあることが好ましい。
- (3) 応募作品の所有権・著作権は、主催者に帰属するものとします。また、その作品を主催、協賛、後援の各社HPや広報誌等の印刷物に使わせていただくことがあります。
- (4) 入選作品は公開しますので、公開されては困るような内容を作品に掲載しないでください。
(例：ご自宅の地図など)
- (5) 応募作品は返却いたしません。

応募に必要なもの

① 絵地図 ② 説明文 ③ 応募用紙(2枚)

(注意)

応募用紙2枚に必要事項を記入してください。
1枚は絵地図(面用紙)の裏面にしっかり貼り付けてください。もう1枚は、説明文の表紙にしっかり貼り付けてください。応募用紙と原稿用紙は、公式サイトからダウンロードできます。

●公式サイト <http://kansatsuro.jeef.or.jp/>

●作品の送り先 お問い合わせ先

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5
日能研ビル1階 自然観察路コンクール事務局
(公益社団法人日本環境教育フォーラム内)

E-mail my-nature-trail-contest2026@jeef.or.jp

TEL 03-5834-2897

募集期間

2026年6月1日(月)～9月30日(水)
※当日消印有効

賞

	個人部門(小・中・高)	団体部門
環境大臣賞	各部門1作品	1作品
優秀賞	各部門2～3作品	1～3作品
入選	各部門3～5作品	1～3作品

※該当作品なしの場合もあります。
※表彰状に加え、謝儀として「富士フィルム賞」と「フォーラム賞」を贈呈します。
※団体部門の賞状・謝儀は、代表者への授与となります。
(人数分の賞状・謝儀の授与は出来ませんこと、予めご了承ください。)

審査・入選者発表

有識者および主催者・後援・協賛の関係者で構成する審査委員会が11月に審査し、その結果を12月上旬に公式サイト等で発表します。

(注意)

応募用紙にご記入のご連絡先または学校に通知するほか、作品および氏名・学校名・学年を公式サイトおよび機関誌「グリーンレーサー」で発表する予定です。
※上記情報の公表については、コンクールへの応募をもって、その承諾をいただいたものとします。

主催 公益社団法人富士フィルム・グリーンファンド(愛託者：三井住友信託銀行株式会社)
公益社団法人日本環境教育フォーラム

協賛 富士フィルムホールディングス株式会社

後援 環境省、朝日新聞社、朝日学生新聞社、公益財団法人森林文化協会

第43回 わたしの自然観察路コンクール

作品募集期間：6/1(月)～9/30(水)

わたしの自然観察路コンクールとは

1984年に始まった「わたしの自然観察路コンクール」は、身近な自然の面白さを発見し、自然を観察できる道を自分にとって絵地図と文章で表現していただいたものを「自然観察路」として審査・表彰するコンクールです。

自然をよく観察し、そのくみやりや不思議さを知ることは、自然を理解し守っていくための第一歩です。日頃大人が見逃しがちな自然を子どもたちの視点で見つけて地図に、文章で表現することで、生き物のつながりや人とのかわりなどを考えるきっかけとなり、自然を愛し大切にすることを育みます。

【自然観察路】……身近な動植物・地質などふれあい、自然を観察することを通して自然のしくみを理解し、自然の大切さに気づき学ぶことができる道のことです。通学路や近所の公園、森や水辺など、場所・季節は自由です。

先生、指導者の皆さまへ

アクティブラーニングの一環として、生きもののつながりや人と自然との関わりについて考えるきっかけづくり、ぜひ授業や特別活動、夏休みの自由研究課題などに取り入れてご活用ください!

本コンクールの最新情報と過去の受賞作は公式サイトでご覧いただけます。

SDGs 4への貢献

「わたしの自然観察路コンクール」は、学校や家庭教育を補う「学びの場」です。自然観察や考察を通して子どもたちの自然を大切に思う心を醸成し、作品づくりを通して表現力を身に付けていきます。

JEFP

公益社団法人日本環境教育フォーラム

第42回(2025年) 入賞作品

小学生の部

環境大臣賞 花見川周辺の観察路 朝岡麗 角川ワゴン学園 5年(東京都)

優秀賞 ぼくらのだいすきな いのちのり 佐竹琉響 大立町立本郷東小学校 1年(山形県)

優秀賞 安芸川の生き物MAP～3つの橋をくぐり～ 秋迫杏奈 安芸市立土橋小学校 3年(高知県)

優秀賞 八潮の生き物MAP 齊藤福 気仙沼市立気仙沼小学校 4年(宮城県)

優秀賞 春のアップル妖精マップ 久保咲葉 南市立大正小学校 6年(北海道)

優秀賞 玉川上水のぼうけんマップ 田中晴 東京学芸大学附属小金井小学校 1年(東京都)

優秀賞 わたしのしぜんいっぱい通学路 吉田睦実 知多市立地北小学校 3年(愛知県)

優秀賞 都市でがんばる生き物マップ 永瀬可純 横浜市立北郷南小学校 4年(神奈川県)

中学生の部

環境大臣賞 トビと遊ぶ 放浪野鳥観察路 廣瀬主吾 伊勢崎市立西中学校 2年(群馬県)

優秀賞 ぼたの舞う散歩道 小形綾音 福島大学附属中学校 3年(福島県)

優秀賞 哲学堂公園の散歩道 田中花奈 東京都立大森高等学校附属中学校 1年(東京都)

優秀賞 僕の街の山道～僕が観た宝もの謎～ 吉村開 京田辺ジュニア学校 3年(京都府)

優秀賞 北原海浜公園自然観察路2025 平澤結里 福島大学附属中学校 2年(福島県)

優秀賞 板橋区の住宅街観察路 足田詩織 東京都立大森高等学校附属中学校 1年(東京都)

優秀賞 高瀬シークレットロード 中山花音 明治大学附属八王子中学校 2年(東京都)

優秀賞 秘公園の観察路2025 矢野結理 明治大学附属八王子中学校 3年(東京都)

優秀賞 武蔵野分公園探索マップ 林綺 明治大学附属八王子中学校 3年(東京都)

高校生の部

環境大臣賞 残り続ける緑地と自然 阿知波ハル 浜松市立高等学校 1年(静岡県)

優秀賞 田んぼの生き物大紹介スペシャル 石川陸紀 愛知教育大学附属特別支援学校 高専部 3年(愛知県)

優秀賞 長浜魅力発見! わくわく自然観察マップ 尾木響月 愛媛県立長浜高等学校 3年(愛媛県)

優秀賞 浜辺の自然観察路 みんなに伝えたい自然と共存 渡辺友子 小糸の女子大学附属高等学校 1年(東京都)

優秀賞 石田琳久 中部大学第一高等学校 2年(愛知県)

団体の部

環境大臣賞 青川・山に囲まれた西表島(希少種キョウリキ)千利川自然観察路 山下清生 西表島小学校児童生徒会 全学年(沖縄県)

優秀賞 ホタルがほむ本宮川マップ 高知市立地北小学校 3年(高知県)

優秀賞 石山見大 もと元宮村こどもエコクラブ 小4年(静岡県)

優秀賞 生き物の世界 in 佐賀県 今原良 THINK (京浜東北中学校) 1年(静岡県)

優秀賞 私の散歩道ときどき水観察路 一歩の人工干渉 大庭海音 高1年(兵庫県)

優秀賞 奈良と京都の環境 能登香音 奈良県立大和高等学校 高2年(奈良県)

地図づくりのポイント

- ① 自然を観察できるポイントとその周辺を描いて、地図をつくってください。場所・季節は自由です。絵の具、色鉛筆、クレヨンなど材料は自由です。縦横サイズは小学生が四角(38×54cm)、中学生・高校生が四角(54×76cm)。図面は縦向きで描いてください。
- ② 図面の長は100cm～2m(縦向きなら1～2倍)くらいとし、必ず「図の縦横」などのタイトルをつけてください。
- ③ 観察ポイントには、小学生は5カ所以上、中学生・高校生・団体は10カ所以上設定してください。観察ポイントには必ず番号を付けてください。
- ④ 観察した生きものや地形の様子・特徴を描いてください。
- ⑤ スタート地点からゴール地点まで、観察する道順を矢印などで示して、わかりやすく描いてください。
- ⑥ 図面の裏面に、必要事項を記入した応募用紙を貼り付けてください。

説明文のポイント

- ① 図面の裏面に、必要事項を記入した応募用紙を貼り付けてください。
- ② 観察路全体のことを400字以内で説明してください。(見どころや特徴、見つけた生きものや植物等を観察して感じたこと・気づいたことなど)
- ③ 各観察ポイントの様子や特徴を、1カ所につき200字以内で説明してください。(小学生は5カ所以上、中学生・高校生・団体は10カ所以上)ただし、観察ポイントの中で1番気に入った場所(1カ所)だけは、400字以内でより詳しく説明できます。
- ④ 図面の裏面に、必要事項を記入した応募用紙を貼り付けてください。

見つけた生きものや植物を観察して感じたこと・気づいたこと・不思議に思ったことなど。図面は縦向きで公式サイトからダウンロードできます。市販の図面用紙でも構いません。書きさし、書きさしを添えてください。

※団体部門でのご応募は、説明文の最後に、チームの代表者の氏名と学年、その他メンバー全員の氏名と学年、役割等を記入してください。

※小学生は、自然観察で感じたワクワク・ドキドキの興奮や気持ちをお手紙で添えてください。

※中学生・高校生は、自然の魅力や人と自然との関わり方などについて、より多様な視点で観察したことを添えてください。

※写真やイラストを添えてください。

※文字数オーバーは減点になります。

この応募用紙を2枚プリントして、2枚にご記入をお願いします。(1枚はコピーでもOK)

先生方へ：学校からとりまとめてご応募いただく場合のお願いです（※個人でのご応募の方は不要です）

* 反社会的勢力排除の観点から、各項目に漏れなくご記入をお願いします（ご記入漏れがある場合は選考対象外となる場合があります）

わたしの自然観察路コンクール【応募用紙】